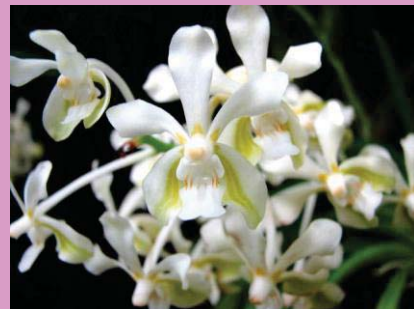


WEEKLY NEWS 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ 2011-2012年度

例会日：水曜日
 第1・第2 夜間・18:30～
 第3・第4・第5 昼間・12:30～
 例会場：華月殿 和歌山市屋形町 2-10
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁 23
 サイバーリンクス N-4ビル 2階
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
 E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp



週報
 通算 1999回
 39号



コウトウヒスイラン ラン科 開花期 3～4月

会長：溝落和作 幹事：籠田 弘
 クラブ会報委員長：赤在依美 副委員長：郷間博敏

本日の例会
 5月11日(金)
 17:30～

ロータリーソング：奉仕の理想
 場所：ホテル中の島
 行事：2000回例会・親睦家族旅行

次回の例会
 5月23日(水)
 12:30～華月殿

行事：IDM発表④
 ロータリー情報・規定委員会

先週例会報告

ゲスト：大塚国際美術館 専任部長 平田雅男様

会場監督 中谷敬子

会長報告

溝落 和作 会長

- 5月7日(月)正午頃 RC 事務所の1階で火災が発生しましたが、RC 事務所の皆さん、他の事務所の皆さんは無事でしたので、安心しました。
- 今日の例会は運営スタイルを変更して例会を開催します。卓話の時間を長く設けるための処置です。本日の卓話は大塚国際美術館 専任部長 平田雅男様にお願いしています。



幹事報告

籠田 弘 幹事

本日、幹事報告はございません。



ニコニコ箱

山田さち子 会計

- 溝落君・平田様、よろしくお願ひします。
- 籠田君・平田部長、本日よろしくお願ひします。
- 保田君・親睦旅行、急に行けなくなりました。申し訳ありません。商用です。他意は決してありません。
- 和田(達)君・昨晚の IDM A班・D班合同の後、溝落会長、辻本先生、市川さん、お世話になりました。また、メンバーの皆様お疲れ様でした。楽しかったです。
- 山田(剛)君・本日卓話、期待しています。
- 中谷君・大塚美術館様、お出ましありがとうございます。
- 中谷君・渡辺さん、お大事に。



4月25日(水)福島中央 RC に災害義援金 250,000 円(東日本大震災義援金 BOX より 200,000 円、社会奉仕より 50,000 円)を贈呈のため、溝落会長・籠田幹事・太田姉妹クラブ副委員長の3名で訪問。



米山記念奨学会

南君・平田様、本日の卓話楽しみにしております。IDM D班の皆様、大変お世話になりました。

《ロータリアンの守るべき道》

① 服装は清潔にし、他の人々に不快の念を与えぬようにしましょう。



	ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援金 BOX
累計	1,997,066	310,000	470,800	11,000	5,000

出席報告	出席者	出席率
会員総数	51名 5/9	34名 68.00%
出席免除会員	2名 4/25	43名 86.00%

外部卓話「今だから話せる大塚国際美術館創設の裏話」(西洋美術に観る 生、病、老、死の世界) 大塚国際美術館 専任部長 平田雅男様

平田雅雄様プロフィール (籠田幹事よりご紹介)

徳島市生まれ。学習院大学へ進学。国際政治史・文化人類学・民俗学・比較宗教学等を学び、その後西洋美術史を修めた。現在、大塚国際美術館において調査・収集・保存・研究業務の他、展示作品の学術解説や執筆活動、また集客誘致活動まで行っており超多忙。名物学芸員とカリスマ学芸員と呼ばれ、美術館の業界では大変ユニークな存在として有名である。



ただ今ご紹介にあずかりました、大塚国際美術館の平田でございます。南海フェリーに乗りまして徳島から参りました。ちょうど2時間の快適な船旅でした。会員の籠田さんからご縁を頂戴致しまして、今日は「西洋絵画に観る生老病死の世界」というタイトルでお話しをさせていただきます。よろしくお願い致します。

大塚国際美術館は、和歌山県のすぐ隣の徳島県の鳴門市にあります。大塚製薬グループ創設75周年記念事業の企業メセナの一環として設立された、国内最大級の美術館です。創業家2代目の大塚正士社主の地元・徳島鳴門への恩返しのお気持ちが大きいに込められています。展示作品は、大塚グループの会社のひとつ大塚オーミ陶業(株)が制作したすべて陶器の板の上に原画作品に忠実に再現されたものです。原画作品とほとんど同レベルの仕上がりは、世界の25カ国190余の美術館から高い評価を受けております。当初は陶板美術館といいますが、今は昨年末発表された「満足度の高い美術館ランキング」では、日本一になりました。

さて、人間には洋の東西古今を問わず共通の絶対真理が存在しております。それは、人間は生まれて老いて病んで死んでいくという事実です。仏教では「生・老・病・死」と言ひまして四苦八苦の最初の4つです。これらのことを当館の絵画を通してお話しさせていただきます。

①この「最後の審判」はミケランジェロによって描かれた作品ですが、仏教では善因善果・悪因悪果という言葉があるように、生前の生き様により天国にいけるか地獄に墮ちるかという内容のものが描かれています。絵の右下には「三途の川」存在まで描いてあることに驚かれるでしょう。

②のエルグレコの「幻の祭壇衝立画」では、礼拝、洗礼、復活などというイエス様の生涯が6枚の絵として説き明かされています。絵解き聖書の世界です。

③④の「鳥占い師の墓」や「飛び込む男」という作品からは「過去世・現世・来世」の存在や人間死んだら墓に葬られるという人類に共通した風習に気付いて頂きたいと思えます。

⑤の「紅海を渡るモーセ」は旧約聖書の「モーセの五書」の内容が描かれたモザイク画です。皆さんはチャールトン・ヘストン出演の「十戒」という映画を思い起こされることでしょうか。どの宗教にも自分たちの尊崇する絶対者に向かい祈る・拝むということが存在しているということを学び取って頂きたい物です。

最後に、人生には楽しいことも苦しい事もたくさんありますが、どちらかというとも苦しいことが多いようです。苦しいことが起きた時に「逃げる」を選ぶか「挑む」を選ぶかはその方の自由ですが、できることならその困難を越える努力をして真っ正面から「挑む」でいただきたいものです。そのハードルを越える努力はあなたを一層大きくしてくれることでしょう。

和歌山東南ロータリークラブの皆様にご来館頂き、絵の前でこの続きを解説させていただきます。ご静聴有難うございました。